

平素より、私どもJA晴れの国岡山をご利用、お引き立ていただきまして厚くお礼申し上げます。

さて、このたび当JAでは半期（9月末）ディスクロージャーを以下の項目について開示いたしますので、皆さまの当JAに対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

今後とも、皆さまに信頼されるJAとして努力してまいりますので、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年11月

晴れの国岡山農業協同組合

農協法に基づく開示債権の状況

（単位：百万円）

債 権 区 分	令和7年3月末	令和7年9月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	556	502	△ 54
危険債権	667	714	47
三月以上延滞債権	-	-	-
貸出条件緩和債権	-	-	-
正常債権	363,528	387,129	23,601
合 計	364,752	388,346	23,594

■「破綻更生債権及びこれらに準ずる債権」

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

■「危険債権」

債務者が経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権（破産更生債権及びこれらに準ずる債権を除く。）です。

■「三月以上延滞債権」

元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものです。

■「貸出条件緩和債権」

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものです。

■「正常債権」

債務者の財政状況及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権です。

単体自己資本比率（国内基準適用）

令和7年3月末	令和7年9月末（見込）
14.23%	14.16%

■ 平成19年3月末より、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」（平成18年金融庁・農林水産省告示2号）の規定に基づいて自己資本比率を算定しています。

主要勘定の状況

		(単位：百万円)		
区 分		令和6年9月末	令和7年3月末	令和7年9月末
貯 金		1,317,724	1,284,324	1,299,232
貸 出 金		356,485	364,065	387,769
預 金		873,516	830,004	815,701
有 価 証 券		66,086	66,582	68,683

有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

<満期保有目的の債券>

種 類	令和7年3月末			令和7年9月末		
	貸借対照表 計上額	時 価	差 額	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
満 期 保 有 目 的	23,415	22,055	△ 1,360	26,639	25,045	△ 1,594

<その他有価証券>

種 類	令和7年3月末			令和7年9月末		
	貸借対照表 計上額	取得原価 又は償却原価	差 額	貸借対照表 計上額	取得原価 又は償却原価	差 額
そ の 他	43,167	52,808	△ 9,641	42,044	52,811	△ 10,767

■ 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

※記載金額の端数処理

金融再生法開示債権、主要勘定の状況、有価証券等時価情報、リスク管理債権残高の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。そのため、内訳金額を合計した金額が合計欄記載の金額と一致しない場合があります。なお、金額が0の科目については「-」、百万円未満の科目については「0」で表示しています。

農業振興ビジョン（目指す姿）

食料の生産供給基地かつ多面的機能を有する農業・農村として在り続ける、JA晴れの国岡山産「統一ブランド」「地域ブランド」農産物が、みんなの「作って元気！食べて元気！」の輪を広げる「晴ればれ産地^{*1}」を目指します。

スローガン

地域の農業振興なくして、JAの存在意義なし

JAの営農指導等総合事業の発揮なくして、地域農業の活性化なし

JA役職員の地域農業振興への思いなくして、「組合員・農業・地域」の元気なし

農業振興目標

（１）農業振興に向けた令和12年度までの将来目標

販売品取扱高目標→300億円以上

岡山県の農業産出額に対する販売品取扱高のシェア率→20%以上

（２）次期3か年の目標

販売品取扱高現状⇒令和6年度274.5億円

販売品取扱高目標⇒令和7年度283億円 令和8年度287億円 令和9年度290億円

農業振興戦略

（１）人づくり(担い手確保)

農業の根幹をなす「人」の育成・確保に向けて、担い手の類型化と「出向く訪問活動」体制の充実を図り、担い手総合支援活動に取り組みます。

（２）物づくり(種まき)

適地適作を観点に需要の変化に応じた選択的規模拡大の推進による農業所得確保に取り組みます。また、小規模農家へは「共同の力」を発揮する生産者組織への加入を推進します。

（３）販売力強化体制づくり(売り込み)

「共同販売」の強みを活かしたスケールメリットとブランド力を発揮するとともに、取引先と産地間における食の安全・安心を基調とする信頼関係の構築をはじめ、双方のニーズに裏づけられる消費宣伝活動や販売チャネルの充実による有利販売及び安定運送手段の確保などに取り組みます。また、JA独自販売を指向するプロジェクト検証に取り組みます。

（４）農業生産環境づくり(伴走支援)

地域農業の持続に向けて、担い手農家が農業を営みやすい環境づくりをすすめ、「よりよい営農活動^{*2}」の支援に取り組みます。

（５）コスト低減と安定供給の仕組みづくり(農業コスト低減)

農業関連資機材供給のスケールメリットをさらに生みだす共同体制の追求により、安全で良質かつ低価格な資機材の安定供給に取り組み、農業コスト低減及び農家組合員の利便性向上などによる「よりよい営農活動」支援を目指します。

（６）推進体制づくり(総合力発揮)

農家組合員の「よりよい営農活動」に取り組む推進体制を整え、農家を訪問する「出向く担い手支援ワンチーム体制」との内部連動並びに関係機関との連携を図り、担い手農家ニーズはもとより関係者総意に基づく関連施策や制度の活用など、総合力発揮による「晴ればれ産地」振興に取り組みます。

*1「晴ればれ産地」

●「晴れの国おかやま」の恵まれた環境の中で育む、当JA管内における地域農業・農村の将来を見据えた「在るべき産地」であり、農家組合員と共に明るく前向きに持続する農業を振興する姿。

*2「よりよい営農活動」

● 令和5年10月5日：全中理事会決定の取り組み方針

● GAP手法(5分野：食品安全・環境保全・労働安全・人権保護・農場経営管理)を活用した営農の実践そのもの。現在の活動のさまざまな危険の生じる可能性から生産農家と農畜産物を守るリスク管理及び経営改善を強化して、さらに営農を発展させていく実践運動。

地域貢献情報

全般に関する事項

■ 協同組織の特性

当組合は「組合員・地域・役職員、みんなが元気になる農業・地域の創造へ」を経営理念とし、組合員・利用者・地域の皆さまとのつながりを第一に、よりよいサービスを提供し続けるJAとして社会的責任を果たします。

■ 組合員数・出資金

組合員数： 正組合員 85,067人 准組合員 53,989人
出資金： 24,910百万円

地域からの資金調達の状況

貯金積金残高	1,299,232百万円
貯金商品	総合口座・普通貯金・当座貯金・貯蓄貯金・定期積金・定期貯金 等

地域への資金供給の状況

貸出金残高	387,769百万円
制度融資取扱状況	設備投資、経営規模の拡大、新規作物の導入等、地域農業の担い手の皆さまのご要望に応えるため次のような資金を取扱っています。 農業近代化資金・農業改良資金・日本政策金融公庫資金 等
融資商品	一般資金(貯金担保・共済担保)・住宅ローン・マイカーローン 等

農業振興活動・文化的・社会的貢献に関する事項（地域とのつながり）

農業振興活動	- 生産者の販売先、消費者の安全安心な食品購入先の拠点となる大型直売所「晴れのち晴れ」と地元農産物を食材に使用するカフェレストラン「SORA&SUN」を併設した複合施設「旬感広場」を総社市にグランドオープン - 予約率向上と晴ればれeネットの取り扱い拡大による生産コスト低減と組合員サービスの充実 1日農業バイトアプリで労働力の支援・確保 - 園芸重点品目の面積拡大の推進による販売品販売高の増加 - 長期出荷と消費者への直接販売による販売力の強化 - 准組合員による農業振興の応援団づくり
文化的・社会的貢献に関する事項	- 各地で児童・幼児を対象に食農教育イベントを開催 - 女性部活動やライフプランセンターで相続対策や資産形成・運用などのセミナーを開催 - 交通安全教室の開催や交通安全機器の贈呈 - 環境負荷を軽減し安全安心な農産物の生産に資する農業用プラごみの一斉回収 - 利用者の財産を守るため、警察署と協力し特殊詐欺対策講座を開催
利用者ネットワーク化への取り組み	- 年金友の会で旅行・スポーツ大会など各種イベントを開催 - 農業青色申告会を中心とした確定申告支援及び記帳代行 - SDGs(持続可能な地域農業・社会の実現など)に通じる女性部・フレッシュミズ組織の活動 - 相互交流を深めながら地域農業の課題解決に力を合わせる青壮年部活動
情報提供活動	- LINE公式アカウントの友だち登録 2 万人突破 さらなる発信と対話運動の強化 - JA役員が出演し、旬の農産物の情報を生放送で届けるAMラジオ番組を放送
店舗体制	84支店